

9月22日(日)・23日(月)



6種類の刺盛り

瀬戸内海で育ったさつぱりとした味わいのオリーブはまち入り

豊漁

本まぐろ

オリーブはまち

自家製さば

※仕入の状況によりネタが異なる場合がございます。

1パック

1,500円 (税込)



西田鮮魚店

72-5246

御用聞き便専用番号 090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

いつになったら秋が始まるのだろうか？まだまだ暑さ残る9月。私は、連日冷房つけっぱなしです。魚も一緒に涼しい場所にはかないと耐えられません。だからいつも魚がいる場所におらず、深く潜るか？別な涼しい場所を探しに行くのでしょうか？市場に仕入に行きますが、魚種と量が圧倒的に少なく、厳しい日々が続きます。じゃく探しに行こうと思ひ、広島県の安芸の小富士と言われる似島へ小林部長と市場の方へ行ってきました！

小さい島と聞いていたので自転車をレンタルし、島一周サイクリングで情報収集して行く流れに。しかしながら中々お店も無ければ、人にも出会わない。ましてや漁港もフェリー乗り場くらいしか見当たらない。漁師さんらしき人にも出会わない。何か情報を探せばバームクーヘン発祥の地とサッカー大国と魚に関係ない情報。すみません、としか言いようがない。たまたま、緩やかな穏やかな時間と空気が味わう事が出来ました。全然広告に関係なく申し訳ございません(汗)

今回はオリーブはまち入り6種の刺盛り〜豊漁〜を販売致します。今後、豊漁になる事を願い名付けました笑！本まぐろに当店自慢の自家製さばも入れた刺盛り。他にもその日水揚げされた魚を厳選し盛り合わせます！！是非お買い求め下さい。スタッフ一同お待ちいたします。

西田鮮魚店 店長 祐宗 優司



# 『72才は敬老?』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



9月16日(月)。三連休の最終日。朝8時から、NHKのBSで大谷を見ていた。ドジャース対ブレーブス戦。

カープの信じられない負けっぷりに、『勝負は下駄をはくまでわからない』という教えを改めてかみしめるこの頃だ。カープがだめならドジャースがあるさ。今年からドジャースのファンになった。だが、そのドジャースも9月に入って調子が悪い。

しかし、この日は違った。チャンスに弱いはずの大谷が得点圏にランナーを置いて二塁打を打って打点をあげた。それも5回と7回の2度。2打点だ。そして2対2の同点で迎えた最終回ドジャース打線が大爆発、7点をあげて9対2で勝った。

大谷が打ってドジャースが勝つ。これだ。今日もいい一日になる。カープもまだ間に合う。がんばれ。

ドジャースでもカープでも勝った試合は最後まで見る。負けたら?すぐにチャンネルを変える。この日はもちろん最後まで見た。そして、チャンネルをBS1に変えた。

『歌える青春のベストヒット』昭和が僕らの青春だった』という番組だった。懐メロを喜ぶ年になった。

堺正章と野口五郎が映っている。そして、野口五郎がギターを弾いて堺正章が歌い始めた。

『街の灯り』だ。

♪そばに誰かいないと 沈みそうなこの胸(こゝろ)。21才だったあの頃、部屋を暗くして聴いていたなあ。せつなさがよみがえる。

研ナオコが出てきた。中島みゆきの『あざみ城のララバイ』のVTRが流れ、中島みゆきが作詞作曲して研ナオコが歌った『かもめはかもめ』が流れる。

そして、紅白で歌う天地真理の『ひとりじゃないの』も。『平凡』を買ったなあ。ポスターが欲しくて……。同い年だった。かわいかった。

VTRは懐かしかった。けど、スタジオに出演していたマチャアキも研ナオコもチェリッシュも、みんな年をとった。堺正章78才、研ナオコ71才、天地真理72才だ。

ひとり、寝室のソファに身を沈めて、チェリッシュが、スタジオで歌う『てんとう虫のサンバ』を見てみると、とんとんとんとん、と軽快に階段を上がる音がする。これは……。ドアをノックし、孫の梨子と誉(ほま)が入ってきた。

「あれ、真子は?」「おるけど、おらん」誉が答える。3回聞き直した。「おるけど、おらん」。禅問答だ。

あとから悦子に聞いた。「真子は?」「サッカーの試合じゃ」と。真子は小学3年生の、サッカー少年のようなサッカー少女だ。『なでしこ』を目指している。それにしても誉の「おるけど、おらん」は何なんだろう。

部屋に入るなり保育所の年長組の誉は私の膝に乗った。そして5年生の梨子が、手に持った紙を広げる。

「じいじ、おめでとー」。手紙を読み始めた。これは、身を正さんといけん、と私はテレビの音を小さくしてソファに座りなおす。

じいじへ

いろいろなところにつれていって来てありがとう! 元気いっぱいいいなと思っただよ! またいろいろなところにつれていってね! それと長生きしてね!

りこより



いろいろなところと言っても、2年前に世羅のバラ園に連れて行っただけ。たいしたことはない。あっ、そうか、誕生日にはソレイユに連れて行ってプレゼントを買ってやったりしてるからか。

青山家には大きいばあちゃんといじちゃん、ばあちゃんが一緒に暮らしている。車で3分のところに住む西田のじいじとばあばは、一緒にいない分、モノで釣る傾向があるかもしれない。

去年だったか、子や孫が集まった席で、酔った私は梨子に台湾に連れて行ってやると約束した。

次女の菜々子の旦那のユティンが台湾人で、ちょうど、ユティンと台湾を訪れて帰ったばかりだった。

そのころ、キャリーバッグを買ってもらった梨子が、それを引っ張って歩きたいと言っているのを聞いた。

「よし、じいじが台湾に連れて行ってやる」。酔った勢いで言った。

「梨子は、その気になつるとるよ」母親の桃子が言う。

行くのはかまわないが、困ったことがある。言葉がわからない。一人ならどうでもするが、小学生の孫を連れての台湾は、さすがにどうじゃる。去年だって、婿がずつと付いてくれたからこそだったのだから。

悦子にも言われた。

「また酔って調子のいいことを言うて、どうするん」「行くにきまつるとるじゃろうが。」引つ込みがつかない。

それが、「また、いろいろなところにつれていってね!」になった。たぶん。

この日、私は酒を飲んでいない。

「梨子、台湾はやめとこう。台湾はパスポートがいる。言葉もわからんし。その代わりに沖縄に行こう。沖縄なら台湾に近いし、キャリーバッグも使える。」

「いいよ」あっさりOKしてくれた。やれやれ。沖縄ならどうにでもなる。

二人は手紙を渡すとすぐに帰った。

「ごはんできたよ」。悦子が下から呼ぶ。懐メロに心を残しながら食卓に着いた。

悦子も手紙をもらっていた。

ばあばへ

朝おき会とかいっしょにつれていって来てありがとう! りょうりもじょうずだし、えがおがすてき! もっとりょうりを作ったりしてね! 長生きしてね!

りこより



食卓にはそうめんと長寿巻き。

このところ、コメはできるだけ食べないようにしている。コメ不足だからではない。また、腹が出てきた。5年前に戻った。だから……。

しかし今日は特別だ。

15日のチラシは『長寿巻き』。写真を見た。おいしそうだ。悦子に頼んでおいた。「昼ご飯は長寿巻きを買おうといってくれ」。私は昆布が好きだ。米正でも、温かいうどんの時は、昆布を入れてもらう。

食べた。おいしかった。

悦子が言う。

「握りの10巻が1480円じゃけど、それより高いよね。」確かに。長寿巻きは1580円だ。

「でも、いろんな魚を一度に口に入れる分、おいしさが違うよね。」

その通りだ。さすが、魚屋に嫁いできて37年。わかってい。もっとも、悦子は、刺身が苦手なのだ。

72才と65才の敬老の日、二人で長寿巻きをいただいた。

2024年9月22日